

# 為家五社百首

ほたる

伊

とぶほたるわがこころだにくるしきに  
身よりあまるをおもひこそやれ

石

うかひぶねくだすかはせのかがり火に  
あらぬほたるもよるはもえつつ

賀

くるるよりほたるとびかふ神がきの  
みたらしがははゆふやみもなし

春

いにしへのとぶ火ののべのなごりとして

ほたるほのめくゆふやみのそら

日

みつかはのいはまの浪にとぶほたる

くだくるたまのきえぬとぞみる

住

すみのえのたまもひとつにうつりつつ

なみのそこにもとぶほたるかな

北

もえこがれ身にもあまるとしらせばち

ほたるよりげにむせぶこころを

賀

きぶねがはほたるみだれしたきつせに  
たまちるばかりふるあられかな

「国歌大観」より